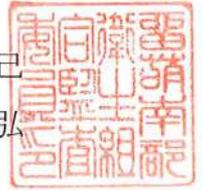


留 衛 監 第 1 9 号  
令 和 元 年 8 月 9 日

留萌南部衛生組合  
組合長 中 西 俊 司 様

留萌南部衛生組合  
監査委員 益 田 克 己  
監査委員 前 崎 正 弘



平成30年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算審査意見について  
地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

平成30年度

留萌南部衛生組合会計

歳入歳出決算審査意見書

留萌南部衛生組合監査委員

## 平成30年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算審査意見

### 1 審査の対象

平成30年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算

### 2 審査の期間

令和元年6月21日から令和元年8月7日

### 3 審査の方法

本決算の審査にあたっては、平成30年度歳入歳出決算書並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「附属書類」という。）が地方自治法等の関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正かつ確実に行われたかどうかについて審査するとともに、決算及び決算額の基礎となる証書類に基づいて決算計数の正確性、適法性をただし、予算執行の適否についても審査した。

なお、現金・預金の確認及び証書類の検証については、地方自治法第235条の2第1項の定めるところにより例月現金出納検査において実施したので、その結果を参考として審査した。

### 4 審査の結果

平成30年度歳入歳出決算書並びに附属書類は、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されており、決算の計数については、関係諸帳簿等の諸書類と照合検算して審査した結果、正確であることを認めた。

### 5 審査の概要

本会計の決算は、資料1「歳入歳出決算状況」に示すとおり、予算現額806,372,000円に対し歳入決算額は811,283,985円で、予算執行率は100.6%であり、歳出決算額は793,885,238円で、予算執行率は98.5%であって、歳入歳出差し引きにおいて17,398,747円の剰余金が生じたため翌年度へ同額を繰り越し、決算を了したものである。

## 6 歳入の決算状況

資料 1 (1) に示すとおり、予算現額 806,372,000 円に対し、調定額及び収入済額は 811,283,985 円と同額で、予算執行率は 100.6% である。

なお、前年度決算額との比較では 28,898,530 円 (3.7%) の増加であり、款別に比較すると次表のとおりである。

歳 入 比 較 表

款 別	平成30年度		平成29年度		比 較 増減 (△)
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1 分担金及び負担金	639,960,529	78.9	610,707,174	78.1	29,253,355
2 使用料及び手数料	143,616,800	17.7	141,769,440	18.1	1,847,360
3 財 産 収 入	12,852,085	1.6	13,640,517	1.7	△ 788,432
4 繰 越 金	13,736,471	1.7	13,453,826	1.7	282,645
5 諸 収 入	147,100	0.0	2,814,498	0.4	△ 2,667,398
6 国 庫 支 出 金	971,000	0.1	0	0.0	971,000
歳 入 合 計	811,283,985	100.0	782,385,455	100.0	28,898,530

### 第 1 款 分担金及び負担金

予算現額 639,961,000 円に対し、調定額及び収入済額は 639,960,529 円と同額で、予算執行率は 100.0% である。

なお、決算額が前年度と比較して 29,253,355 円 (4.8%) 増加しているが、この要因は、火葬場分は 4,964,665 円の減となったが、ごみ処理場分は 30,856,724 円の増、有害鳥獣処理施設分 3,262,247 円の増に伴い市町負担金が増加したものである。

この負担金は、「当組合負担金割合及び徴収条例 (3 施設毎に制定)」に基づく管理運営費、建設費、公債費等に対する負担金で、各市町の負担内訳は施策の実績報告書のとおりである。

### 第 2 款 使用料及び手数料

本款は、当組合衛生センター使用条例、火葬場条例及び行政財産使用料に関する条例に基づいて受益者から徴収する使用料で、予算現額 139,410,000 円に対し、調定額及び収入済額は 143,616,800 円と同額で、予算執行率は 103.0% である。

なお、決算額が前年度と比較して 1,847,360 円 (1.3%) 増加しているが、これは、衛生センター使用料は 402,510 円の減となったが、火葬場使用料は 621,000 円の増、また、ごみ処理手数料 1,628,870 円の増により増加したものである。

### 第3款 財産収入

本款は、土地貸付収入及び物品売払収入で、予算現額 12,146,000 円に対し、調定額及び収入済額は 12,852,085 円と同額で、予算執行率は 105.8%である。

なお、決算額が前年度と比較して 788,432 円 (5.8%) 減少しているが、これは、ごみ処理に伴う資源物の売払収入の減少によるものである。

### 第4款 繰越金

本款は、平成 29 年度歳入決算額 (782,385,455 円) と歳出決算額 (768,648,984 円) との差引残高 13,736,471 円を繰り越したものである。

### 第5款 諸収入

本款の収入は、延滞金、加算金及び過料の 1,300 円は延滞金収入、雑入 145,800 円は生ごみ処理施設風災に伴う保険金収入である。

### 第6款 国庫支出金

本款の収入は、災害復旧事業費補助金 971,000 円で、これは衛生センター災害復旧工事に伴う国からの補助金である。

## 7 歳出の決算状況

資料 1 (2) に示すとおり、予算現額 806,372,000 円に対し、支出済額は 793,885,238 円で決算を了した。予算執行率は 98.5%で、不用額は 12,486,762 円である。

なお、前年度決算額との比較では 25,236,254 円 (3.3%) の増加であり、款別に比較すると次表のとおりである。

歳 出 比 較 表

款 別	平成30年度		平成29年度		比 較 増減 (△)
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1 議 会 費	440,400	0.1	569,339	0.1	△ 128,939
2 総 務 費	16,097,355	2.0	16,468,110	2.1	△ 370,755
3 衛 生 費	606,428,291	76.4	574,325,071	74.7	32,103,220
4 公 債 費	169,029,192	21.3	174,414,528	22.7	△ 5,385,336
5 予 備 費	0	0.0	0	0.0	0
6 災 害 復 旧 費	1,890,000	0.2	2,871,936	0.4	△ 981,936
歳 出 合 計	793,885,238	100.0	768,648,984	100.0	25,236,254

## 第1款 議会費

予算現額 646,000 円に対し、支出済額は歳出総額の 0.1%に相当する 440,400 円（執行率 68.2%）で、不用額は 205,600 円である。

なお、前年度決算額と比較すると 128,939 円（22.6%）の減少である。

## 第2款 総務費

予算現額 16,848,364 円に対し、支出済額は歳出総額の 2.0%に相当する 16,097,355 円（執行率 95.5%）で、不用額は 751,009 円である。

なお、前年度決算額と比較すると 370,755 円（2.3%）の減少であるが、その主な要因は、委託料の 313,200 円の減によるもので、その内訳は、財務書類作成業務委託料は 648,000 円の増となったが、地方公会計整備業務委託料が 961,200 円の減となり減少したものである。

## 第3款 衛生費

予算現額 615,555,107 円に対し、支出済額は歳出総額の 76.4%に相当する 606,428,291 円（執行率 98.5%）で、不用額は 9,126,816 円である。

なお、前年度決算額と比較すると 32,103,220 円（5.6%）増加しているが、その主な要因は、し尿処理場における躯体強度調査の終了等による委託料の減（4,507,920 円）及び消化槽屋根防水改修工事の実施等による工事請負費の増（6,863,400 円）、火葬場の屋上防水補修工事の施工面積減による工事請負費の減（1,047,600 円）、ごみ処理場の施設修繕費の増等による需用費の増（1,038,525 円）、労務単価上昇等による各種委託料の増（26,168,318 円）及び留萌市施設管理負担金の電気使用料見合分の増加等による負担金の増（1,672,503 円）、有害鳥獣処理施設の施設修繕費の増等による需用費の増（2,626,340 円）によるものである。

## 第4款 公債費

予算現額 169,030,000 円に対し、支出済額は歳出総額の 21.3%に相当する 169,029,192 円で、不用額は 808 円である。

支出済額の内訳は、火葬場建設事業に係る元金償還金（23,050,000 円）、一般廃棄物最終処分場建設事業に係る元金償還金（143,671,481 円）及び貸付金に係る償還利子（2,307,711 円）である。

なお、前年度決算額と比較すると 5,385,336 円（3.1%）の減となっている。

## 第5款 予備費

項 別	予算額	充用額	不用額	充用率	備 考
予備費	円 5,000,000	円 2,597,471	円 2,402,529	% 51.9	

#### 第6款 災害復旧費

予算現額 1,890,000 円に対し、支出済額は歳出総額の 0.2%に相当する 1,890,000 円（執行率 100.0%）であり、平成 30 年 7 月に発生した大雨により水没した衛生センター地下ポンプ室の復旧に伴う工事請負費等によるものである。

#### 8 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書については、地方自治法施行規則第 16 条の 2 に定められた様式で、計数にも誤りがなく正確であると認めた。

#### 9 財産に関する調書

本調書に記載された財産は公有財産及び物品であり、年度中増減得喪、現在高等の状況が明らかにされており、調書に表示された計数について財産台帳と照合確認の結果、正確であると認めた。

#### 10 むすび

留萌南部衛生組合は、1 市 2 町で構成された一部事務組合であり、し尿処理、火葬、一般廃棄物処理、有害鳥獣等処理に係る事務事業を共同で行うことによって、住民の快適な生活環境を維持するという重要な責任を担っている。

これらの業務並びに施設運営費用については、その 8 割弱が構成市町の負担金で賄われていることから、今後も継続して業務の効率化による経費削減に努めるとともに、安定した運営を継続していくため、日々の点検強化や計画的な修繕・改修の実施と災害発生時などの突発的な状況に対応するための計画等の整備を望むものである。

今後、構成市町間の連携をさらに密にし、住民の意見を反映したごみ分別のあり方も検討しながら、廃棄物の適正な処理を図り、快適で住みよい地域づくりに一層努力されたい。

## 資料1

## 平成30年度 留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算状況

## (1) 歳入

款 別	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	予算執行率 C/A	調定対比 C/B	収入済額の 構成比	収入済額の予 算現額に対す る増減(△)額	不 納 欠損額	収 入 未済額
1 分担金及 び負担金	円 639,961,000	円 639,960,529	円 639,960,529	% 100.0	% 100.0	% 78.9	円 △ 471	円 0	円 0
2 使用料及 び手数料	139,410,000	143,616,800	143,616,800	103.0	100.0	17.7	4,206,800	0	0
3 財産収入	12,146,000	12,852,085	12,852,085	105.8	100.0	1.6	706,085	0	0
4 繰越金	13,737,000	13,736,471	13,736,471	100.0	100.0	1.7	△ 529	0	0
5 諸 収 入	147,000	147,100	147,100	100.1	100.0	0.0	100	0	0
6 国庫支出金	971,000	971,000	971,000	100.0	100.0	0.1	0	0	0
合 計	806,372,000	811,283,985	811,283,985	100.6	100.0	100.0	4,911,985	0	0

## (2) 歳出

款 別	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額				予算執行率 B/A	支出済額 の構成比	不用額	歳入歳出 差引額	備 考
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計					
1 議 会 費	円 646,000	円 440,400	円 0	円 0	円 0	円 0	% 68.2	% 0.1	円 205,600	円	
2 総 務 費	16,848,364	16,097,355	0	0	0	0	95.5	2.0	751,009		
3 衛 生 費	615,555,107	606,428,291	0	0	0	0	98.5	76.4	9,126,816		
4 公 債 費	169,030,000	169,029,192	0	0	0	0	100.0	21.3	808		
5 予 備 費	2,402,529	0	0	0	0	0	0.0	0.0	2,402,529		
6 災害復旧費	1,890,000	1,890,000	0	0	0	0	100.0	0.2	0		
合 計	806,372,000	793,885,238	0	0	0	0	98.5	100.0	12,486,762	17,398,747	